



農作業メモ

野菜のこれから管理

スイートコーン

・管理作業

トンネル栽培では発芽直後から換気を開始します。日中は積極的に換気し、トンネル内の温度を30℃以下に保つように努めます。トンネルは遅霜の心配のない5月上旬に外します。

間引きは本葉5〜6枚の頃、手で抜かずナイフ等で株もとから切り取ります。分げつは取らないようにします。乾燥時は通路灌水が有効です。雄穂が出た後の水分不足は、雌穂先端の不稔などの品質を落とす原因になるので特に注意が必要です。

・害虫防除

注意が必要な害虫はアワノメイガとアブラムシです。特にアワノメイガは出荷期の雌花に入り商品価値をなくすので、適期に防除を行う必要があります。雄穂の先が見え始めたら1回目の

防除を行い、それから7〜10日後に再度防除を行います。

6月になると急にアブラムシ等の害虫の発生が多くなるので、露地マルチ栽培では特に注意が必要です。

・収穫

絹糸が出て20〜30日後が収穫適期です。スイートコーンの収穫適期は4日程度と短いので早めにチェックし見逃さないようにしましょう。

春ブロッコリー

・トンネルの管理

日中はトンネル内が25℃以上の高温にならないように換気します。花蕾の形成〜肥大期頃にはトンネルを除去します。

穴あきトンネルや不織布保温資材を利用することもできます。穴なしトンネルよりは収穫期が遅れますが、換気労力を減らすことができます。

・収穫

気温が次第に高くなる時期なので、花蕾の育ちが早くなります。収穫適期が短いので、取り遅れに注意しましょう。

アブラナ科の根こぶ病対策

・被害の状況

根こぶ病は、アブラナ科に特有な土壌伝染性病害です。本病に感染すると根に大小さまざまなこぶが多数できま

す。土壌中からの水分や養分の吸収が妨げられ、晴天の日中に茎や葉が萎れるようになります。病原菌は、カビの一種であり、アブラナ科植物を連作すると多発しやすくなります。水分を好むため排水の悪い圃場や、夏から秋にかけて雨の多い年に発生が多くなります。

根こぶの中に休眠胞子が多数存在しています。休眠胞子はこぶが腐ると土壌中に分散し、宿主植物がなくても数年も生き残ります。

そのため、一度発生した圃場では、長期間にわたって被害が発生する可能

性があります。また、農作業にともなう土の移動や降雨などによって、発生圃場から周辺へ広がる可能性があります。

・対策

- ① アブラナ科植物の連作を避ける。
- ② 耐病性品種を利用する。
- ③ 高畦栽培を行うなど、圃場の排水対策を行う。
- ④ 石灰資材などを施用し、土壌酸度を矯正する。
- ⑤ 伝染源となる被害株や残渣は圃場外に持ち出して適切に処分する。
- ⑥ 発生圃場で使用した農機具や長靴などに付いた土壌はきれいに洗い落とす。

以上の対策のほか、薬剤防除を必要とする場合は、土壌処理剤で防除します。

なお、農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう！
誤認しやすい作物もあるので注意してください。散布時は周辺への飛散に注意しましょう！